



ユネスコエコパーク通信

綾の森でボランティアがごみ拾い

照葉樹林クリーンアッププロジェクト(公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会主催、綾ユネスコエコパークまちづくり協議会、てるはの森の会共催)は、12月4日に行われました。

この活動は、UMKテレビ宮崎の「24時間テレビ」の企画のひとつで、昨年(2015年)に続き2回目の開催。県内各地から約80人を超えるボランティアが集まり、綾町の技能者組合や里山を守る会のメンバー約30人と共におそろいの黄色のベストを着用し、大吊橋からさらに須木方面に入った3地点でゴミ拾いに汗を流しました。



集められたごみは2トトラック2台分にもなり、ペットボトルや空き缶などのほか、家電製品、タイヤ、ロープなども多く、「美しい森をずっと守っていくために、不法投棄をしないよう厳しく取り締まることも必要」と参加者は厳しい表情。一方で、達成感のあるさわやかな笑顔



も見せていました。

終了後は、同日、ふれあい綾もりの市に出店していた農協青年部が手づくりした地元産の食材たっぷりのカレーがふるまわれ、「冷えた体が温まる!とてもおいしい」と大好評。午後からは、早川農苑の早川ゆり代表の食育に関する講話があったほか、NPO法人教育ファーム宮崎・綾

(奥誠司代表)による食材当てゲームも行われました。参加者からは「私たちが清掃した森から生まれた水や土で、この野菜が育てられている。ゲームで野菜を食べたが、ミズナやホウレンソウが、こんなに甘くておいしいとは。これからはドレッシングをかげずに食べたい」などの声があがりました。主催者によると、照葉樹林クリーンアッププロジェクトは今後も毎年12月に開催される予定です。豊かな森を守るために、皆で活動が続けていきましょう。

コラム

ジヨウビタキ

冬に人里や公園などでよく目にする渡り鳥。スズメより少し小さく、昆虫やクモ、木の実を食べます。

全体が淡褐色のメスに比べ、頭が銀白色で目の周りが黒く、胸から腹尾にかけて鮮やかなだいたい色のオスが見つけやすいでしょう。ちょっとお辞儀をして尾を震わすなど、かわいらしい姿を見せてくれます。

ジヨウビタキという名前は、頭の銀髪を意味する「尉(ジヨウ)」と、火打ち石をたたくような「ヒッヒッ」という鳴き声から「火焚(ヒタキ)」と付けられたそうです。紋付鳥とも呼ばれ縁起がよい鳥とされています。

